令和7年度 下仁田中学校教育構想

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・県教育振興基本計画
- ・下仁田町教育行政方針 等

下仁田町で目指す児童生徒
自主的な小学生 自律した中学生
(自分で考えて、自分で決めて、自分で行動する)

- 生徒のよい面
- ・明るく素直
 - ・楽しく活動
 - ・コミュニケーション力
 - ・学習習慣
 - ・コミュニケーション力
- 生徒の課題
- ・挨拶
 - ・ICT 活用力
 - ・基本的な生活習慣

〈下仁田町コミュニティ
スクール〉
「ふるさとを愛し、たくましく
生きていける子」の育成
「共生」「追究」「自立」

教育目標：みんなで目指す生徒の姿

愛する：思いや考えを伝え合い、聴き合う生徒
人のかかわりやつながりを大切にする生徒

考える：自らよりよくしようと考える生徒

行う：粘り強くやり抜く生徒
新たなことに挑戦する生徒

- 〈目指す教師の姿〉
- 思いや考えを伝え合い、聴き合う教職員
 - 人のかかわりやつながりを大切にする教職員
 - 自らよりよくしようと考える教職員
 - 粘り強く最後までやり抜く教職員
 - 新たなことに挑戦する教職員

〈目指す学校像〉

生徒の主体性を育む学校

〈 学校経営方針 〉

豊かな人間性の育成

生徒の主体性を育む学校づくりを行い、生徒一人一人がエージェンシーを発揮する機会を設けるとともに「みんなで目指す生徒像」の実現を図る。(非認知能力の育成)

確かな学力の育成

主体的、対話的で、深い学びとなるよう授業改善に努め、ICT を効果的に活用して「知識・技能」「思考力・判断力・表現力など」をバランス良く育む。

健やかな体の育成

生徒の命と健康、人権を守ることを最優先に考え教育活動を行うとともに、生徒自身が自他の命と健康、人権を守る力を高めることができるようにする。

家庭・地域連携の推進

学校から積極的に情報発信するとともに、保護者や地域の方々の立場に立って考えたり、協働したりすることに努める。

Plan

〈 学校経営を達成するための努力点 〉

(1) 豊かな人間性の育成のために

- 生徒の主体性を育むために、「生徒が考え、生徒が決めて、生徒が行う」機会を積極的に設けたり、生徒の自律につながる言葉かけやかかわりなどの支援を工夫したりする。
- 『みんなで目指す生徒像』を実現するために、目的や場面に応じて、高めたい姿を生徒、職員がともに意識して授業をはじめとした教育活動を行うとともに、振り返りをして自分自身を見つめる時間を重視する。
- 生徒の主体性や自己肯定感、自己有用感を高めるために、全職員で「みんなで目指す生徒像」に係る生徒の「いいところ探し」を継続して行い、生徒へのフィードバックを工夫して行う。
- 生徒がそれぞれの夢や目標に向かって主体的に、粘り強く努力することができるようにするために、キャリア教育を計画的に行う。

(2) 確かな学力の育成のために

- 生徒が自己決定したり、他者と聴き合い学び合ったりする授業デザインを考え、生徒主体の授業を行う。
- ICT の活用を工夫して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- 総合的な学習の時間等で町の地域素材を積極的に活用し、探究的な学びの充実を図る。
- 家庭学習や読書が充実するよう、家庭や小学校等と連携した取組を工夫する。

(3) 健やかな体の育成のために

- 健康の自己管理能力を高めるために、生徒主体の保健指導の充実を行うとともに、家庭と連携してメディアの使い方や健康的な生活習慣づくりに関する支援を継続する。
- 『体力向上プラン』に基づいて、保健体育の時間に ICT を効果的に活用して学び合う工夫を行うとともに、生徒が考えたり、選んだりして運動する機会を積極的に設ける。
- デジタル社会の中で生徒が自分で考え、責任をもって行動できるようにする力を育むために、計画的にデジタルシチズンシップ教育を行う。

(4) 家庭・地域連携の推進のために

- 家庭や地域との連携や協働を充実させるために、学校からの情報発信を工夫するとともに、家庭や地域の方々が集まる場や学校運営協議会、学校評価等で意見を求めたり、地域の人から学ぶ機会を積極的に設けたりする。
- 併設型小中一貫校の教育活動が充実するよう、小学校の教職員等と連携を図ったり、児童生徒が目的を持って交流したりする場を工夫したりする。また、その取組を家庭や地域に発信し、理解を図る。

(5) 働き方改革の推進のために

- 職員が心身ともに健康で生徒に向き合うことができるようにするために、全職員で業務改善を積極的に推進するとともに、職員どうしでかかわり合う。

Action

Do

Check

学校組織マネジメント

- 「学校は生徒が社会の中でよりよく生きていける力をつけるためにある。」という認識のもと、生徒の主体性を育む教育活動を展開し、生徒と教師の願いや思いから決めた『みんなで目指す生徒像』の実現を目指す。
- 組織の一員としての意識を高く持ち、報告・連絡・相談・確認を確実に行うよう努める。また、フットワーク(迅速)、ネットワーク(連携)、チームワーク(協力)よく、かつ関係者と連携し組織的に対応するよう努める。